

井原慶子、伝統の「セブリング 12 時間レース」で総合 8 位入賞 マツダ・プロトタイムチーム、新エンジンで初完走

2016 年 3 月 21 日

レーシングドライバー井原慶子は、アメリカ最高峰のスポーツカーチャンピオンシップシリーズ・IMSA WeatherTec Sports Car Championship 第 2 戦「第 64 回セブリング 12 時間レース」にマツダ USA の公式チームであるマツダ・モータースポーツから参戦し、総合 8 位に入賞した。

2016 年 3 月 19 日（土）（日本時間 20 日決勝）アメリカ・フロリダ州・セブリングインターナショナルレース ウェイで行われた伝統のレース「第 64 回セブリング 12 時間レース」は、大荒れのレースとなった。

井原がドライブする 70 号車は、予選 7 位グリッドから決勝をスタートし、チームメイトのトム・ロングがスタートドライバーを担当した。井原は 2 ステイント目を走行。ピットストップで 27 位まで順位を落としたものの、井原がドライブする間に 10 位まで順位を取り戻したところ、サンダーストームがやってきて大雨が降りだした。スリックタイヤを履いていた各マシンがコース上いたるところでスピンやクラッシュを喫し、井原も最終コーナーでスピン。しかしながらそのまま走行を続け、3 番手のジョエル・ミラーにバトンをつないだ。その後も雨が降り続き、雷が鳴りだしたところでレースは一時赤旗中断となった。この赤旗が 2 時間以上続き、決勝がスタートしてから約 6 時間後にレースが再開された。レース再開後も雨量が変化しながら雨は降り続き、12 時間の間に 20 回以上のイエローコーションが出る激しいレースとなったが、井原がドライブするマツダ・モータースポーツ 70 号車は、56 台出走中総合 8 位で完走、入賞を果たした。

井原コメント

「1 年ぶりのレースでとっても緊張しました。フリー走行も与えられたのは 6 周のみでしたが、前の週にカナダで、アメリカのファクトリーとつないでの事前シュミレーションテストを行ったり、チームメイトも親切にデータ等を提供してくれたので、良いタイムが出せました。

決勝は、セブリングの荒れた路面に嵐がきたおかげで、3 周に一度は誰かがスピンやクラッシュをするという激しいレースでした。その中、12 月のシェイクダウンから関わらせてもらった新エンジン“マツダ MZ-2.0T”を搭載しての初完走は、とっても嬉しいです。V8 など大きなエンジンを相手に 2 リッターターボで戦えるとは、新しい時代を感じました。応援してくださった皆さんありがとうございます！」

マツダ USA モータースポーツ担当ダイレクター、ジョン・ドゥーナンのコメント

「デイトナでは 2 台りタイヤの憂き目にあいましたが、今回は私たちのマシンにメジャーなトラブルは一切なく、チームにとっては良いシーズンインとなりました。レースはご覧の通りエキサイティングであり難しいレースでしたが、マツダ・プロトタイプは高いパフォーマンスを発揮することができました。今回は本当にやりがいのあるレースでした。KEIKO も頑張ってくれた。ハードワークをこなしてくれたチームを誇りに思います。」

なお、井原とマツダで行っている「Mazda Women in Motorsport」では、2016 年より中期目標をかかげ、モータースポーツを楽しむ層に加えて、世界を目指す女性の育成にも力をいれることを 1 月に発表。第 2 期訓練生を今週 3 月 23 日まで募集し、4 月より井原に続く世界で活躍する女性を育成していく。 以上